







猪名川源流太鼓

「太鼓をやり始めた動機ですか？」  
祭り太鼓を聞いて「これだ！」と  
血が騒いたから」と入ってきてま  
だ間がない新人女性。

虫の音と太鼓と、そして月がよく合う秋の夜でした。問い合わせて、私は町観光協会事務局（産業課内）へ。

伏見台に住んで十五年。そして夏祭りの益踊りに参加し続けて十五年。「太鼓の音を聞くべく、ウキヰキしてしまふ」と心が騒がれる様子です。そして心と体の健康のためにも踊りを続けておられます。



伏見台  
新開 編代さん

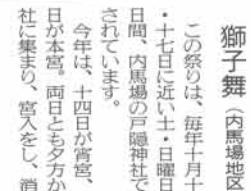
心踊る太鼓の音



ふるさとの活力源としての祭り



杉生



獅子舞（內馬場地）

獅子舞（内馬場地区）  
この祭りは、毎年十月十六日  
・十七日に近い土・日曜日の二  
日間、内馬場の戸隠神社で開催  
されています。  
今年は、十四日が宵宮、十五  
日が本宮。両日とも夕方から神  
社に集まり、宮入をし、消防団



## 取材を進めて いながわ特派員



窪田 勤美

意味だろ?」「私たち新潟住宅の秋の夜更け、祭り好きの我が家のお住民も行っていいのかな」



## 取材の収穫は宝物



梅沢久美子

「練り込み保存会」の存在は、祭りの取材で巡り会えた收穫のひとつ。保存のみならず、地域の人々と協力し、コミュニケーションをとりながら子供たちへ伝えていく。その姿は、私たち都会育

「」ではないから」と愚う。  
慌ただしく過ごしがちな毎日、それでもふと足を止めこの町を見つめ直してみるのもいい。

## 源流太鼓の 息込みにふれて



原部美千代

「す、すごい迫力！」  
ドアを開けて最初に言った。それっきり後は何も言えなかつた。  
無心に太鼓を打ち鳴らす人々の姿に、何かしら私の中に込み上げてくる

十数個の太鼓が一つになり、その場がお祭り会場になつたようだ。

地域のかけはしのチャンスとなれば